

# 印西市立小中学校の 国際理解教育

令和7年10月6日(月)

第7回総合教育会議 印西市教育委員会 指導課

1. 国際理解教育とは
  2. 小中学校での主な国際理解教育の実践例
  3. 国際理解教育に係る教科・領域等
  4. 世界に羽ばたくグローバル人材育成プロジェクト（英語教育ビジョン）
  5. 市教委の具体的な取組
  6. 学校における国際理解教育の推進に係る課題
- 

## 1. 国際理解教育とは

- ◆異なる文化や考え方を知ること、お互いの違いを理解し、尊重し、協力し合う態度を養う教育
- ◆相互理解と尊重、自己文化の確立、主体的な行動力の育成、グローバルな視野の獲得

## 2. 小中学校での主な国際理解教育の実践例

- ① 外国語学習...小学3.4年生で週1コマ、小学5.6年生で週2コマ、中学1-3年生で週4コマの実施
- ② 国際交流...海外の小中学生や外国人講師と交流し、異文化に触れる
- ③ 異文化理解...諸外国の歴史や文化、生活や習慣を学ぶ
- ④ 国際社会問題...世界の平和や人権問題など、グローバルな課題を学ぶ

## 3. 国際理解教育に係る教科・領域等

- ◆①～③は外国語活動（小3.4）、外国語科（小5以降）で
- ◆②～④は社会、音楽、総合的な学習の時間、道徳などで

## 4. 世界に羽ばたくグローバル人材育成プロジェクト（英語教育ビジョン）\*別紙

◆学ぶ力を育て、外国語を使って主体的に思いや考えを発信する力のある児童生徒の育成

➡9年間の一貫した指導と英語力向上に向けた**小中連携**

➡R8年度より**全18小学校を外国語教育課程特例校**に...R6は2校➡R7は4校➡R8は18校  
(小学1.2年生で週1コマの英語学習)

➡外国語教育検討委員会...教材の作成、教員研修の検討、小1.2年年間指導計画の作成

## 5. 市教委の具体的な取組

①英語教育CN（小学校）・ALT（小中学校）の配置

②英語マスター（小5.6）の実施...英語コミュニケーション能力検定

③イングリッシュアカデミーの実施...ホップ（小3.4）、ステップ（小5.6）、  
ジャンプ（中2.3）

④訪日教育旅行の受け入れ...学校内で外国の児童生徒との交流

⑤AIアプリの授業活用...コミュニケーション能力の育成・オンライン交流

## 6. 学校における国際理解教育の推進に係る課題

### ①本市における国際的な取組の希薄さ

→機関・団体・人材など連携先の不足

「誰と連携できるのか...?」「どうしたら連携できるのか...?」

→姉妹都市がない、国際交流事業がない

「どうやって継続できるのか...?」

### ②教職員の意識・経験の偏り

→小学校における英語学習の実施

「本校の国際理解教育は英語です...」

→教員個人の知識・経験に依存、国際経験者の不足

「〇〇先生がいないと難しいよね...」「国際的な視野って...?」

### ③CEFR（外国語の運用能力を評価するための国際的な共通基準）

→千葉県R8目標値 A1相当以上60.0%（中学3年生）

→印西市R6調査値 A1相当以上56.5%（ " ）